

オンライン版

「木造住宅の耐震リフォーム達人塾／オンライン版」

講習プログラム

2022 年度版

国立大学法人名古屋工業大学
高度防災工学研究センター

2022年度『木造住宅耐震リフォーム達人塾／オンライン版』について

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため多くの方が集まらない現状を鑑み、名古屋工業大学高度防災工学研究センターでは7年以上にわたり全国各地で開催している技術講習会『木造住宅耐震リフォーム達人塾』のオンライン版を2020年度と2021年度に開講しました。達人塾では技術的な内容の伝授だけでなく、各地域のご関係諸氏の意見交換や交流も耐震化促進には重要な要素と位置づけ、原則対面型の講習を主として参りました。一方、オンライン版は、いつでも受講できる、ビデオを止めたり巻き戻したりすることができる等、対面版にはない効果的な受講ができるとの声もいただいております。

そこで、2022年度においても対面版と並行してオンライン版を継続して提供し、対面講習の代替という役割だけではなく、時間の限られた対面講習を補う補助講習としてもご活用いただけるようご案内いたします。対面講習と合わせて、建築士・設計士の技術力のアップと地域の耐震化促進に向けてオンライン版をご活用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター

達人塾（オンライン版）開催のお申し込み、お問い合わせ先

名古屋工業大学高度防災工学研究センター 担当：井戸田秀樹、石川 典子

E-mail : adpec@archi.ace.nitech.ac.jp

Tel : 070-1676-7408（月～木、13：00～17：00）

（恐れ入りますが、お問い合わせはできるだけ電子メールにてお願いいたします）

2022年度 開講コース一覧（オンライン版）（予定）

2022年7月開講予定：好きな時間にビデオを視聴するオンデマンド方式です

オンラインビデオ教材の内容（各ビデオの時間長さは予定です）

- 1** 第1講 建築士・設計士の役割と7つの鉄則（65分）
- 2** 第2講 低コスト耐震補強の手引き解説（75分）
- 3** 第3講 ネットワークの重要性と行政の役割（35分）
- 4** 第4講 実例で学ぶコストダウンの隠しワザ（65分）
- 5** 第5講 住宅所有者への説明技術（45分）
- 6** 第6講 精算法、偏心率計算、N値計算の基礎（25分）
- 7** 第7講 手計算で理解する精算法、N値計算法（入門編）（35分）
- 8** 第8講 手計算で理解する精算法、N値計算法（応用編）（75分）
- 9** 第9講 耐震診断・設計プログラムの操作方法と要点（15分）
- 10** 第10講 設計演習課題（1）+達人案解説（60分）
- 11** 第11講 設計演習課題（2）+達人案解説（60分）
- 12** 第12講 設計演習課題（3）+達人案解説（55分）
- 13** 第13講 木造住宅の施工品質と耐震性能（20分）
- 14** 第14講 施工者として知っておきたい補強設計のポイント（55分）
- 15** 第15講 住宅の安全・安心について（30分）
- 16** 第16講 低コスト工法の隠しワザを現場で完全実演（45分）
- 17** 第17講 改修設計の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A（25分）
- 18** 第18講 改修現場の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A（20分）

受講モデルコース	講習概要	受講対象者	講習プログラム	受講料 / テキスト代
1. ベーシックコース	(対面版プログラムを 対面版と同じ プログラムをご覧下さい)	(対面版プログラムを 対面版と同じ プログラムをご覧下さい)	1 ~ 4 を中心に受講し、理解が進んだらアドバンストコースにステップアップして下さい。	受講料：無料 テキスト代： 4,000円*2（予定） お申し込み頂いた全受講者が全ビデオをご視聴頂けます。 *2 県市等で一括してテキストをご利用いただける場合には割引いたします。ご相談下さい
2. アドバンストコース			1 ~ 6 を受講し、 7 、 8 の演習に取り組んで下さい。その後、必要に応じて 9 の操作方法を習得してから 10 、 11 の設計演習課題（1）（2）に挑戦して下さい。	
3. エキスパートコース*1			「1. ベーシックコース」、「2. アドバンストコース」と 15 をご受講の上、 11 、 12 の設計演習課題（2）（3）に挑戦して下さい。	
4. 施工演習コース			13 、 14 、 4 、 16 、 18 を視聴いただき、業務との関連・興味があれば、ベーシックコースもご覧下さい。	
5. 設計演習コース			「1. ベーシックコース」受講後、 6 ~ 9 で計算方法と設計プログラムの操作方法を習得し、 10 、 11 、 12 の設計演習課題（1）（2）（3）に挑戦して下さい。	

*1 エキスパートコースは学習効果の高いグループワークを中心とした対面型講習を基本としています。オンライン版はグループワークに対応していませんので、グループワークをご希望の場合は対面型での開催をご検討下さい。

「達人塾／オンライン版」各講義の概要

1 第1講 建築士・設計士の役割と7つの鉄則（65分）

地域の住宅耐震化のために建築士・設計士・大工が担うべき役割とその具体的な内容を「7つの鉄則」の形で分かりやすく伝授します。

2 第2講 低コスト耐震補強の手引き解説（75分）

安価な耐震改修工法が紹介されている愛知建築地震災害軽減システム研究協議会発行の「木造住宅低コスト耐震補強の手引き」を徹底解説します。

3 第3講 ネットワークの重要性と行政の役割（35分）

木造住宅の耐震改修に関わる関係者間のネットワーク構築と行政の役割について、耐震改修先進県の取り組みを紹介しながら解説します。

4 第4講 事例で学ぶコストダウンの隠しワザ（65分）

耐震改修工事の実例に基づき、診断精度向上の重要性、耐震改修専用工法施工のノウハウなど、実務で超役立つ情報をわかりやすくご紹介します。

5 第5講 住宅所有者への説明技術（45分）

どんなに工事費が安くても、家主の決断がなければ耐震改修は実現しません。家主が耐震改修を決心するために必要な安全・安心の説明技術について、具体的に解説します。

6 第6講 精算法、偏心率計算、N値計算の基礎（25分）

診断精度を上げるために必要な3点セット（精算法、偏心率計算、N値計算）の概要と考え方について構造力学の基礎からわかりやすく解説します。

7 第7講 手計算で理解する精算法、N値計算法（初級編）（35分）

精算法とN値計算法について、基礎的な例題を手計算で解くことによって理解します。

8 第8講 手計算で理解する精算法、N値計算法（応用編）（75分）

精算法とN値計算について、実践的な例題を手計算で解くことによって理解を深めます。また、診断ソフトを使わずに合理的に計算するためのワザも公開します。

9 第9講 耐震診断・設計プログラムの操作方法と要点（15分）

耐震診断プログラム「達人診断」（無料体験版）を用いて、住宅データの入力方法、改修設計の基本操作方法等を演習するとともに、診断ソフト活用のノウハウを公開します。

10 第10講 設計演習課題（1）＋達人案解説（60分）

平屋の住宅の例題に取り組み、耐震改修設計の基礎を演習します。

11 第11講 設計演習課題（2）＋達人案解説（60分）

2階建ての一般的な既存不適格住宅を対象とした設計演習課題を通して、耐震改修設計の基礎から応用を系統的に習得します。

12 第12講 設計演習課題（3）＋達人案解説（55分）

種々の耐震改修専用構法を駆使して、2階建ての店舗共同住宅の高難易度耐震改修例題に挑戦します。より高いスキルを習得するためのチャレンジ演習課題です。

13 第13講 木造住宅の施工品質と耐震性能（20分）

構造用合板に留め付ける釘の位置と打ち方が耐力壁の耐震性能に及ぼす影響を理解し、施工品質が住宅の耐震性能に与える影響が少なくないことを学びます。

14 第14講 施工者として知っておきたい補強設計のポイント（55分）

耐震改修設計を施工者の立場から考えることで、施工者として知っておきたい設計の考え方やポイントを、具体例を通して習得します。

15 第15講 住宅の安全・安心について（30分）

建築物の安全・安心をどのように考え、どのように伝えていくべきかをリスクの考え方をを使って学びます。

16 第16講 低コスト工法の隠しワザを現場で完全実演（45分）

安価に耐震改修を実現させるための必須技術である低コスト工法を施工するための様々な隠しワザを豊富な現場写真・映像を通して徹底的に解説します。

17 第17講 改修設計の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A（25分）

耐震改修設計に関する設計士からの疑問に達人たちがズバリ答えます。

18 第18講 改修現場の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A（20分）

耐震改修施工に関する現場からの疑問に達人たちがズバリ答えます。

開催方式 [1] 県が主催し、県に受講申込をする場合

受講者	県または市町（主催者）	高度防災工学研究センター	NPO 法人達人塾ねっと
	●達人塾開催依頼 申込先：adpec@archi.ace.nitech.ac.jp	○開催方式等の確認	○申込受付
●受講申込	●募集 チラシ、HP 等でアナウンス ○受付 参加者名簿の作成等		
資料頒布方法 [1] 県から受講者に頒布			
○資料受取	●受講者人数の通知 ●受講者への資料の配付 講習ビデオへのアクセスキーの通知。県市のチラシ同封。	○受講者人数の確認 ●資料一式の郵送 講習ビデオへのアクセスキーの通知	
資料頒布方法 [2] NPO から受講者に頒布（県市の資料等の同封はできません）			
○資料受取	●受講者名簿と郵送先	●受講者へ資料の郵送 講習ビデオへのアクセスキーの通知	●NPO ホームページ
●オンライン受講 NPO 法人達人塾ねっとの HP にアクセスして受講			
資料代支払方法 [1] 県から NPO へ支払い（資料代のみ）			
	●支払い	●資料代の請求	
資料代支払方法 [2] 受講者から NPO へ支払い（資料代+資料郵送料）			
●支払い		●資料代の請求 資料配付時に請求書を同封	
資料代）	・資料頒布方法 [1] の場合	資料代 4,000 円（予定）×受講者数	
	・資料頒布方法 [2] の場合	（資料代 4,000 円（予定）+送料 520 円）×受講者数	
受講認定 [1] 受講申込+達成度評価テストで受講を認定			
●オンライン受験	○試験 HP の開設 ○受講済判断	●各受講者の成績通知	
受講認定 [2] 受講申込で受講を認定			
	●受講申込者リストで判断		

開催方式 [2] 県が主催し、NPO に受講申込をする場合

受講者	県または市町（主催者）	高度防災工学研究センター	NPO 法人達人塾ねっと
	●達人塾開催依頼 申込先：adpec@archi.ace.nitech.ac.jp	○開催方式等の確認	○申込受付
●受講申込	●募集 チラシ、HP 等でアナウンス		○受付 参加者名簿の作成等
資料頒布方法 [1] 県から受講者に頒布			
○資料受取	●受講者への資料の配付 講習ビデオへのアクセスキーの通知。県市のチラシ同封。		●資料一式の郵送 講習ビデオへのアクセスキーの通知、受講者名簿
資料頒布方法 [2] NPO から受講者に頒布（県市の資料等の同封はできません）			
○資料受取			●受講者へ資料の郵送 講習ビデオへのアクセスキーの通知
●オンライン受講 NPO 法人達人塾ねっとのHP にアクセスして受講			●NPO ホームページ
資料代支払方法 [1] 県から NPO へ支払い（資料代のみ）			
	●支払い		●資料代の請求
資料代支払方法 [2] 受講者から NPO へ支払い（資料代+資料郵送料）			
●支払い			●資料代の請求 資料配付時に請求書を同封
資料代） ・資料頒布方法 [1] の場合 資料代 4,000 円（予定）×受講者数 ・資料頒布方法 [2] の場合 （資料代 4,000 円（予定）+送料 520 円）×受講者数			
受講認定 [1] 受講申込+達成度評価テストで受講を認定			
●オンライン受験	○受講済判断	○試験 HP の開設	●各受講者の成績通知
受講認定 [2] 受講申込で受講を認定			
	受講申込者リストで判断		

開催方式 [3] 高度防災工学研究センターが主催する場合

(資料頒布方法、資料代支払方法は [2] のみです)

受講者	県または市町	高度防災工学研究センター (主催者)	NPO 法人達人塾ねっと
	● 達人塾開催依頼 申込先: adpec@archi.ace.nitech.ac.jp	○ 開催方式等の確認	○ 申込受付
● 受講申込	○ 県内にアナウンス チラシ、HP 等でアナウンス	● アナウンスの依頼	○ 受付 参加者名簿の作成等
資料頒布方法 [2] NPO から受講者に頒布 (県市の資料等の同封はできません)			
○ 資料受取			● 資料の郵送 講習ビデオへのアクセスキーの通知
● オンライン受講 NPO 法人達人塾ねっとの HP にアクセスして受講			○ NPO ホームページ
資料代支払方法 [2] 受講者から NPO へ支払い (資料代 + 資料郵送料)			
● 支払い			● 資料代の請求 資料郵送時に請求書を同封
資料代) 資料代 4,000 円 (予定) + 送料 520 円			
受講認定 [1] 受講申込 + 達成度評価テストで受講を認定			
● オンライン受験	○ 受講済判断	○ 試験 HP の開設 ● 受講者の成績通知	
受講認定 [2] 受講申込で受講を認定			
	○ 受講済判断		● 受講申込者リスト

<達人塾オンライン版開催に関する Q&A>

Q：オンライン版とはどんな講習方法ですか？

A：インターネット上に公開した達人塾の講習ビデオを、受講者の方が好きな時間に好きな場所で何度でもご覧いただくことのできる配信サービスです。講習のための資料をご購入いただいた方にビデオへのアクセスキー（ID とパスワード）をお知らせします。

Q：アクセスキーは全国共通ですか？

A：アクセスキーは県ごとに異なったものを発行する予定です。

Q：オンライン版のシステムを利用するのに利用料は必要ですか？

A：必要ありません。

Q：インターネット環境のない方のために、会議室等で上映会を催したいのですが可能でしょうか。

A：もちろん可能です。ただし、講習ビデオの時間は従来の対面型よりも若干長くなっていることをご了承下さい。

Q：オンライン版は何回でも視聴できますか？

A：受講者にお知らせするアクセスキーを使って今年度内は何度でも視聴できますが、県のほうで視聴期間を限定したい等のご要望があればアクセス可能期間を設定させていただきます。

Q：申込をしてから資料が届くまでにどれくらいの時間が必要ですか？

A：県にまとめて発送する場合 1 週間程度、各受講者に個別に郵送する場合には 10 日程度必要です。

Q：達成度評価テストは何回でも受けられるのですか？

A：1 回しか受験できないような設定は受験者を特定する必要がありますので運用が難しいです。何回でも受験できる方式で実施させて下さい。なお、達成度評価テストのサンプルを次ページに掲載しましたので、参考にしてください。

Q：達成度評価テストはどのように実施するのですか？

A：受講者がビデオを視聴した後、オンライン形式で実施します。出題は 4 択 25 問を予定しています。受講者と成績を対応させたリストを主催者にはご提供いたします。

Q：達成度評価テストの合格点は何点ですか？

A：各受講者の達成度評価テストの成績をお知らせしますので、可否については貴県にてご判断下さい。

Q：講師謝金は必要ですか？

A：移動、時間拘束を伴いませんので不要です。

Q：対面型の講習を受講した人は「オンライン版」を受講できますか？

A：はい、通常の対面型の講習（ベーシックコースを除く）を受講された方には無料で「オンライン版」の資料とアクセスキーをお知らせします。年度内は何度でもご視聴いただけます。

Q：オンライン版はどんな内容ですか？

A：<http://tatsujinjuku.net> でアドバンストコースの紹介ビデオがご覧いただけます。

